

楽屋deトーク第7弾は、インペク*として重要な役割についていただいている葛西麻弓子さん、外山純子さんへお話を伺いました!

*インペク…インペクスターの略 演奏に関わる所のマネジメントが主な仕事です。指揮者とリハーサルの順番を確認したり、メンバーへリハーサル前の諸連絡や出席の確認、リハーサルから本番までスムーズに進められる様にしています。

- ◆ **インペクになったきっかけは?または理由はなんですか?**
葛西…楽員会(楽団員で成り立っている組織)の代表メンバーになり損ねた所、あてがわれたポストがインペクでした。因みに、外山さんは私がスカウトしました。
- ◆ **インペクの仕事での苦労や大変だと思う点は?**
葛西…もう慣れたので、苦労や大変さを感じにくくなっていますが、基本的には人との交渉力が非常に大切なので、自分の思っている事をいかに正しく相手に伝えられるか?また誤解や伝達ミスがおきない様に最善を尽くしています。
- ◆ **逆にやりがいを感じる点はありますか?**
外山…葛西さんが頼りになるので、私にはあまり苦労はありません。
- ◆ **中部フィルの魅力や好きな所を教えてください。**
葛西…老舗のオーケストラよりフレキシブルな所、音楽的な要素だけでなく幅広い意味で、です。
- ◆ **それぞれ思い出に残っている公演はなんですか?**
葛西…改名記念コンサートです。
- ◆ **葛西さんはヴァイオリン、外山さんはチェロを担当されていますが、楽器との出会い(きっかけ)を教えてください。**
外山…古くはベートーヴェン・マラソンコンサート、近年では文化庁公演でしょうか。マラソンコンサートは、もともとベートーヴェンの交響曲の中でも4番が一番好きで、注目される舞台で演奏できて嬉しかったことを覚えています。文化庁公演は、子どもたちにとってはまたとない機会に立ち会える喜びを感じるからです。

- ◆ **それぞれの楽器の魅力はどういうところでしょうか?**
葛西…音色が渋くて美しく落ち着くのは勿論ですが、弦楽器の中で比較的人口が少ないので、室内楽で必要とされた時に声をかけて貰いやすい特典もあります(笑)
- ◆ **音楽以外で趣味はなんですか?**
葛西…月並みですが、気楽に気分転換出来る旅行やキツくない運動です。
- ◆ **音楽家でなければ何になっていたと思いますか?**
葛西…多分、会社員ですね。主婦業も母親業も向いてない気がします。
- ◆ **今後の目標・夢は?**
葛西…1日でも長く演奏活動を続けていける様に努力したいです。
- ◆ **中部フィルを応援してくださっている皆様へ一言**
葛西…いつも演奏会に足を運んで下さりありがとうございます。先日の市民会館ロビーコンサートにも、寒い中にも関わらず沢山のお客様にご来場頂き本当に嬉しかったです。

理事長のちょっとチャット

私は、今聴いているクラシック音楽が作られたのはどんな時代だったのか、を知りたいという雑学的関心があって、暇にまかせて歴史書や年表を眺めることにしています。で、クラシックは古典とは言ってもそんなに大昔でもない、と身近に引き寄せた感じを楽しんだりしています。

たとえば、チャイコフスキーが当初は不評だった「白鳥の湖」を発表したのは1877年。英国ビクトリア女王がインドの君主になったり、ベルが電話機を発明した年でした。日本では西郷隆盛が西南の役に破れて自刃した年でした。ブラームスがシューマンの奥さんとのプラトニックラブを買った果てに63歳で亡くなった1897年は日清戦争直後、日本が坂の上の雲を目指して奮闘していた頃、西欧では第一回オリンピック開催の年でした。

ロマン派の音楽家は日本では言えば幕末から明治初期を生きた人たちで、黒船来航から明治維新の15年間に活躍していた音楽家を並べてみると、リスト、ワグナー、ヴェルディ、シュトラウスII、ブラームス、ビゼー、チャイコフスキー、ドボルザーク、など皆同時代の人たちです。明治初期の岩倉具視・大久保利通らの米欧視察団はニューヨークでチャイコフスキー指揮の演奏会を、それと知らずに聴いたことがあるらしい、と何かの本にありました。

その時代背景こそクラシックで古典的なことではないかと言われる、それはその通りです。ただ、私が生まれた年から過去に向かって現年齢分だけ遡ると、これらの時代は全てその内側に入ってくるので、私にはやや身近に感じられるという、単なる歳のせいなのかも知れません。

中部フィルだより 第23号

発行日 2014年3月7日
発行所 NPO法人 中部フィルハーモニー交響楽団
〒485-0041 小牧市小牧二丁目107(市民会館内)
TEL:0568(43)4333 FAX:0568(43)4334
http://www.chubu-phil.com/

編集後記

冬も終わりに近づき「春の足音」が聞こえてくる時期になりました。…春の足音ってどんな音がするのでしょうか。ウキウキわくわくスキップの様な足音?不安な新生活を前にドキドキ重々しい足音?今年の皆様の「春の足音」、どんな音を感じていますか?

さて今号の1ページ目にありますように2014年度定期自主公演のラインナップが決定しました。

さらに新しくサポーター・ファンクラブ制も始まります。中部フィルをさらに身近に感じていただけたら嬉しく思います。

第23号 発行日 2014年3月7日

NPO法人中部フィルハーモニー交響楽団

中部フィルだより

26年度自主公演ラインナップ

第7回名古屋定期演奏会
2014. 6/20(金) 18:45開演 (会場) 三井住友海上 しらかわホール

チケット料金 指定席:4,000円 自由席:3,000円
学 生:1,000円 ※学生は自由席のみ
3月19日(水) チケット発売

Program

ベートーヴェン:序曲「コリオラン」八短調Op.62
ベートーヴェン:交響曲第4番変ロ長調Op.60
ブラームス:ピアノ協奏曲第2番変ロ長調Op.83

[指揮] 秋山 和慶 [ピアノ] 佐藤 麻理

第7回犬山定期演奏会
2014. 11/15(土) 15:00開演 (会場) 犬山市民文化会館

チケット料金 指定席:4,000円 自由席:3,000円
学 生:1,000円 ※学生は自由席のみ
8月20日(水) チケット発売

Program

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番八短調Op.37
ベートーヴェン:交響曲第3番変ホ長調Op.55「英雄」

[指揮] 堀 俊輔 [ピアノ] 伊藤 恵

ニューイヤーコンサート 音楽の福袋第4弾
2015. 1/10(土) 14:00開演 (会場) サラマンカホール

チケット料金 指定席:4,000円 自由席:3,000円
学 生:1,000円 ※学生は自由席のみ
10月8日(水) チケット発売

Program

第1部 池辺晋一郎:交響曲第9番 ~ソプラノ、バリトンとオーケストラのために(2013) 作曲者指揮初演
第2部: オペラアリア、ワルツ、ポルカ 他*

[指揮・お話] 池辺 晋一郎(写真) [ソプラノ] 幸田 浩子 [バリトン] 宮本 益光 堀 俊輔*

第25回定期演奏会
2015. 2/1(日) 14:00開演 (会場) 小牧市市民会館ホール

チケット料金 指定席:4,000円 自由席:3,000円
学 生:1,000円 ※学生は自由席のみ
10月29日(水) チケット発売

Program

ハイドン:交響曲第100番ト長調Hob.I-100「軍隊」
シベリウス:ヴァイオリン協奏曲ニ短調Op.47
シベリウス:交響曲第2番ニ長調Op.43

[指揮] 広上 淳一 [ヴァイオリン] 小林 美樹

オーケストラの日 第12回ファミリーコンサート
2015. 3/29(日) 15:00開演 (会場) 小牧市市民会館ホール

チケット料金 指定席:4,000円 自由席:3,000円
学 生:1,000円 未就学児:500円
※学生・未就学児席は自由席のみ
12月24日(水) チケット発売

Program

第1部: スポーツ音楽特集
第2部: プロコフィエフ:バレエ音楽「シンデレラ」より抜粋

[指揮・お話] 福田 一雄 [バレエ] 後藤田恭子バレエスタジオ

支援の輪拡大とサービスの向上をめざして

サポーター・ファンクラブ制を導入

多くの個人支援会員の皆様と支援企業・団体の皆様に支えられて、中部フィルは来年2月に15年目を迎えます。楽団が更に成長・発展してゆくために、昨年11月には支援会員の皆様の中から、今までより一歩踏み込んだ具体的な支援活動をお願いできるボランティアを広く募集させて頂きました。応募頂いた21名の方々を中心に、2月初めから「クチコミ、チラシの配布によるPR」「新規会員の勧誘」「チケット販売」など活発な活動が開始されています。

これを機に、従来の個人支援会員を「中部フィルサポーター」と改称し、また新たにファンクラブとして「中部フィルフレンズ」を新設し、将来に向けた支援の輪を拡大していきたいと考えております。その概要を説明させていただきますので、ご理解と更なるご協力をお願いします。なお、この新しい支援の体制は、本年4月より順次スタートさせていただきます。

個人支援会員を「中部フィルサポーター」と改称

従来の個人支援会員を「中部フィルサポーター」と改称します。これに伴い、中部フィルサポーターは、「サポーター(従来の支援会員)」「ゴールドサポーター(従来の特別支援会員)」「コアサポーター(ボランティア応募の方)」の3つで構成していきます。

会費の額や特典は従来のままですが、「サポーター証」を発行し、ポイントカードの要領で一定のコンサートカードが集まると無料招待券を提供したり、リハーサル見学会など新たなサービスも検討しております。

ファンクラブとして「中部フィルフレンズ」を新設

中部フィルのコンサート情報に強い関心を寄せて下さる多くのファンの皆様に、気軽に中部フィルとふれあい、コンサートへも足を運んでもらえるように、「中部フィルフレンズ」というファンクラブを新設します。

中部フィルフレンズは「中部フィル(一般)フレンズ」「中部フィル学生フレンズ(22歳まで)」「中部フィルシニアフレンズ(60歳から)」で構成し、会費は1000円で、フレンズ会員証を発行します。

フレンズの皆様には、中部フィルを身近に感じて頂き、将来サポーターになっていただけるようにチケット購入における特典や学生フレンズ向けの楽団員との交流会などを考えております。

中部フィルフレンズの募集は、3月30日のファミリーコンサートでの折込チラシから開始いたします。

「中部フィルサポーター」による力強い支援とファンクラブである「中部フィルフレンズ」に支えられ、「トップクラスのオーケストラ」を目指し、たゆまぬ挑戦を続けていく所存です。今後とも中部フィルハーモニー交響楽団に変わらぬご支援をお願い申し上げます。

なお、制度の詳細についてのご案内やサポーター証・フレンズ証につきましては後日発送予定となっております。

この「中部フィルだより」をお読み頂いている皆様には、何卒趣旨をご理解賜り、新規のサポーターやフレンズ登録についてのお誘い、クチコミによる情報伝達などあたたかいご支援を賜れば幸甚に存じます。

♪ 音楽こぼれ話あれこれ ♪

堀俊輔氏(ヘルベルト・フォン・ホリヤン)の凄さ

佐藤 宏

彼は又の名をヘルベルト・フォン・ホリヤンと云う。これは芸名であって全く違う二つの顔を持った指揮者である。そういう意味では異色ともいえるが、今は亡き大音楽家であった山本直純氏を彷彿させる。小澤征爾氏や秋山和慶氏を育てたことで有名な斉藤秀雄氏門下の逸材で作曲家で指揮者でもあったが、テレビ番組「オーケストラがやってきた」をクラシック音楽番組としては空前の大ヒットをさせて、クラシックを庶民のものにした大功労者だった。

話を元に戻すが堀氏は早稲田大学文学部を首席で卒業後、東京芸術大学指揮科に入学した事でも異色と云えよう。

氏は秋山和慶氏に師事し、先生から最も信頼されている、一番弟子なのである。

とにかく彼は全てに努力家である。その努力によって、あの独特のキャラクターが生まれたのだと思う。

しかしその下地は合唱付きの宗教音楽を手掛けたら我国で最高級の指揮者として評価されている方である。宗教音楽の分野ほど、ある意味、地味であるがその音楽の深さは途方もない程のもので、努力家で研究心旺盛でないとは出来ないと。そして彼は青少年のための音楽鑑賞事業(通称・音教)にかけてはほかの追隨を許さない程、我国で飛び抜けた存在である。

我が中部フィルも氏のお蔭で文化庁主催公演で各地の学校で大好評を博してきた。

もちろん我が中部フィル団員も指揮者と共に変な努力の賜物であったのは云う迄もない事だ。私も公演に同行しているが文化庁関係者はもとより各学校の児童生徒、また先生、地域の方も「これほど楽しいコンサートは初めてだ!!」と大喜びされているのである。

堀俊輔氏(ヘルベルト・フォン・ホリヤン)はそれほど、素晴らしい指揮者なのだ。

最近の演奏会から

文化庁公演を振り返って

上田花奈(フルート)

昨年9月30日から始まった平成25年度文化庁公演が今年1月24日、追加公演を含め無事に終了しました。今年度は兵庫県、香川県、高知県、愛媛県、徳島県の小中学校、24校を巡回しました。私は香川県出身なので今年度の公演を心待ちにしていました。

昨年の夏頃、文化庁公演の指揮者でもある堀音楽主幹(ホリヤン先生)から「香川公演で『ご当地プレイヤーのコーナー』を設けるのでコンチェルトをやらないか」とホリヤン先生ならではの斬新なご提案がありました。それからすぐに自分のやりたい曲をピックアップしCDを作り先生にご相談して、明るく輝かしいモーツァルトのフルート協奏曲第2番1楽章を吹く事に決めました。私にとって文化庁公演の中で演奏することは大きなチャレンジとなりました。

ホリヤン先生のご配慮で、本番当日のリハーサル、本番と一日2回コンチェルトを演奏する経験を与えて頂きました。

地元でコンチェルトを吹くのは自分の演奏経験の為勿論ですが、私の演奏する姿を見て、楽器をやってみたいな! 将来演奏家になりたいな! と思う子どもが一人でもいてくれたら…という思いもあり演奏しました。貴重な機会を下さったホリヤン先生、サポートして下さった楽団員の皆さんに大変感謝しています。

文化庁公演で一日一日、気を抜く事なく新たな気持ちで公演を行うのは容易ではありません。しかし、毎日違う環境、子ども達(聴衆)、会場の響きの中で試行錯誤し本番を積み重ねる事が私達の若いオーケストラにとって本番力をつけられる貴重な本番となります。

平成26年度は北関東の公演が決まっています。オーケストラの実力発展に繋がる様、来年度も楽しみながら臨みたいと思います。



第24回定期演奏会

稲庭 達(首席客演コンサートマスター)

コンサートマスターの稲庭です。今回は「四季」のソロも弾かせて頂きました。

思えば2005に開催された「愛・地球博」の頃から呼んで頂いてるのでもう10年近くも御一緒してきたんですね! 因に指揮の秋山さん、ファウンダーの佐藤さんとは私の芸大時代からの長〜いお付き合いになりますが、そのお二人が居られるこのオーケストラとは何か不思議な繋がりを感ずります。

中部フィルは楽員も若く、新鮮でエネルギーでとっても魅力的なオーケストラだと思います。楽員一人一人の音楽に対する真摯な姿勢・向上心が有るのは勿論、何よりも楽団全体の雰囲気明るくて大変ロシイ! 綺麗な女性メンバーが多いのも私的には(男性の御客様にも)嬉しい限りです(笑)。まあ冗談はさておき、こんなオジサンのリハーサル等での要求(戯言)もよく聞いてくれますし、いつも大事にしてくれて本当に感謝感謝です!

さて少し真面目な話を…私はオーケストラの奏でる響きは正に「マジック」そのものと確信しています。それは本当に本当に夢のような世界…。我々の目の前に立ちただる楽譜はただの記号の羅列に過ぎず、私たち演奏家の使命はその音符に込められた「命」を深い愛情を以て掬い上げて全身全霊を懸けて音に命にしてあげる事…。

偉そうに上から目線で言ってしまうましたが、実際は皆さんとそんな素晴らしい世界もしっかり共有出来て音楽の幸せを充分感じています! これからももっともっと幅広く出来たらと願っています。

定期の感想のほすがこんな投稿になりました。それから この場を借りてステージ・楽譜、事務局staffの方々一言お礼を、いつも気持ちよく弾かせ頂きありがとうございます。

